

第1回検討委員会でのご意見への回答

意見1：過去に整備した牧野植物園リニューアル時の内容の確認と、今季の整備対策の考え方について

平成11年のリニューアル当時の検討メンバー、議論、積み残しの課題、今反映できるものがあれば、それをしっかり検証すべきではないか。

【回答】

裏面のとおり

意見2：検討委員会の名称を変えたらどうか

意見の趣旨は、「持っている価値の最大化」がミッションであって、この言葉を磨き上げとっていいのか腹落ちしない。玉を磨くのであれば玉の大きさは変わらないので、単なる相対的輝きが増すだけ。本当は、玉自体を大きくして、さらに存在感を増すのであり、そのことが世界に誇れるという表現になると思うので、入り口の部分を考え直して委員会の名称を変えたら良いのではないかと。

【回答】

同じ「玉」を磨くだけでは、「玉」の大きさは変わらず、曇ったところが、光るだけのご意見がありました。委員のご指摘のとおりだと考えます。

今回の「磨き上げ」につきましては、牧野博士のお宝であります、芸術的にも魅力のある植物画や植物標本、更には6万点にも及ぶ蔵書など、これまで植物園が培ってきました実績と経験を含めまして、植物園の持っているポテンシャルを最大限に引き出すものでありまして、大きさがかわらないわけではなく、持っている強味を更に、最大化していくこととしての「磨き上げ整備」でございます。

委員のご意見のとおり、「大きな玉」に仕上げ、世界に誇れる牧野植物園にしたいと思っておりますので、「牧野植物園磨き上げ整備基本構想検討委員会」の名称で進めさせていただきたくご理解をお願いいたします。

高知県立牧野植物園の整備概要

単位:百万円

| | 第一期整備 平成5～10年度 | 第二期整備 平成15～21年度 |
|--------|--|--|
| 基本計画概要 | ① 牧野記念館 ・博士顕彰展示・収集保管・研究機能・飲食提供・交流連携 ② 展示温室 ・新設(老朽化)・展示・休憩・バックヤード ③ 植栽園地 ・命名区・郷土区・絶滅区・日華区・薬用区・食用区・標本区・自然林 ④ 化石展示 ・植物と化石展示・収集保管 ⑤ 道路駐車場 ・循環連結道路・公園連結歩道・バリアフリー ⑥ その他 ・植物相談所・友の会活動拠点・栽培温室・トイレ、休憩施設 ⑦ 観光資源 ・体験型教室(標本)・植物ガイド・お馬・参道活用 | 第1期整備の継続 ② 展示温室 ・新温室の設置 ③ 植栽園地 ・50周年記念庭園の設置 ⑤ 道路駐車場 ・第2駐車場の新設 ・管理道、歩道の設置 ⑥ その他 ・寒蘭センターの新設・栽培温室バックヤード設置 |
| 実施の概要 | ◎牧野富太郎記念館リニューアル 2.3ha→敷地18ha(園地6ha) 【総事業費:8,476百万円】 ・H10 記念館: 1,582百万円 ・H10 展示館: 947百万円 ・H7～9 用地購入:1,182百万円 ・H10 回廊: 91百万円 ・H9 トイレ: 46百万円 ・第1駐車場 } ・北園地造成 他 } :4,627百万円 | ◎研究型植物園の機能強化、観光資源としての充実 【総事業費:1,136百万円】 ※端数処理のため合計不一致 ・H15 長江圃場・管理道路等:233百万円 [H15:7 H16:6 H17:2 H18:162 H19:58] ・H15 薬用植物研究室:58百万円 H15～H17 ・H18 化石館解体:3百万円 ・H18 寒蘭センター:22百万円 ・H18 管理用道路、遊歩道:34百万円 ・H19 フェンス:33百万円 [H19:1 H20:24] ・H21 南園温室:462百万円 ・H21 50周年庭園:64百万円 ・H21 第2駐車場[第1改修+第2P新設]:285百万円 |
| 検討委員会 | ① 検討委員会 17名 ② 専門員(アドバイザー) 4名 ③ 委員会の開催 5回 | ① 検討委員会 15名 ② 整備ワーキング 11名 ③ モニター調査 16名 ④ 委員会の開催 4回 |
| 継続 | ◆第1期整備計画での次期継続整備 ② 展示温室[新温室の設置] ③植栽園地[50周年記念庭園の設置]→次期整備 ⑤ 道路駐車場[第2駐車場の新設] [管理道、歩道の設置] →次期整備 ⑥ その他[寒蘭センターの新設][栽培温室バックヤード設置] →次期整備 | ◆第2期整備計画での次期継続整備 ③植栽園地[食用区] [未利用地自然林] ⑤道路駐車場[循環連結道路][バリアフリー] ⑦観光資源[体験型教室(標本)・植物ガイド・お馬参道活用] |